

「第6回 平成21(2009)年度環境行動計画アンケート調査」の結果概要

2009年9月17日

(社) 日本ツーバイフォー建築協会

[1] 調査概要

(1) 調査目的

- ① 会員各社及び協会本部が、会員各社の環境課題への取り組み意識及び実態を相互に共通認識として把握する。
- ② 「環境行動計画」の次期改訂版(平成22(2010)年度版)検討のための基礎資料の収集。

(2) 調査方法

① 調査対象

当協会一種(A、B、C、D)正会員 491社

② 調査方法

FAXで配布し、FAXにて回収

③ 調査期間

2009年5月14日から5月31日(回収は6月30日まで受け付け分を有効とした)

④ 回収件数等

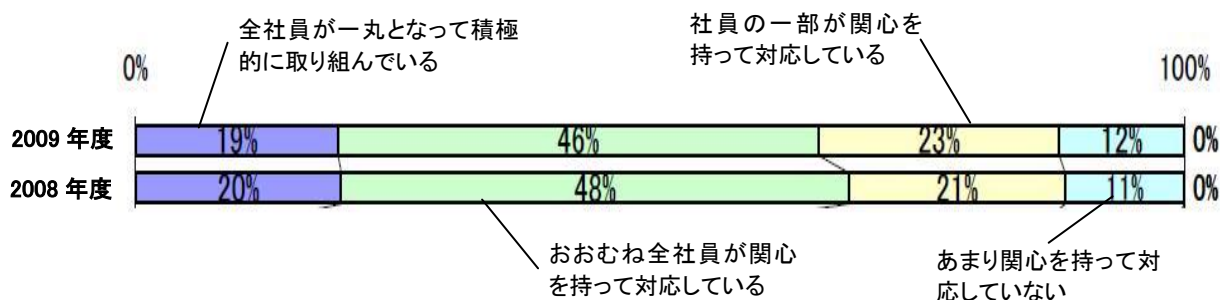
	配布数	回収数	回収率
第1種A正会員	15	8	53.3%
第1種B正会員	33	15	45.5%
第1種C正会員	140	39	27.9%
第1種D正会員	303	46	15.2%
総数	491	108	22.0%

<参考>

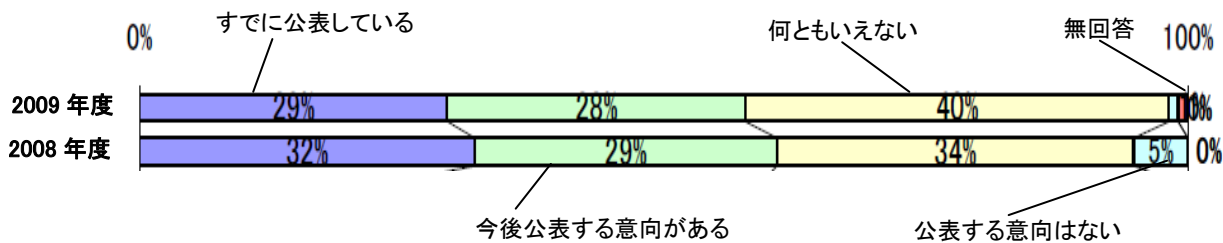
平成20(2008)年度	483	97	20.1%
平成19(2007)年度	493	135	27.4%
平成18(2006)年度	521	165	31.7%

[2] 「環境」への取り組みに関する基礎的な情報

(1) 貴社の「環境」への取組状況について

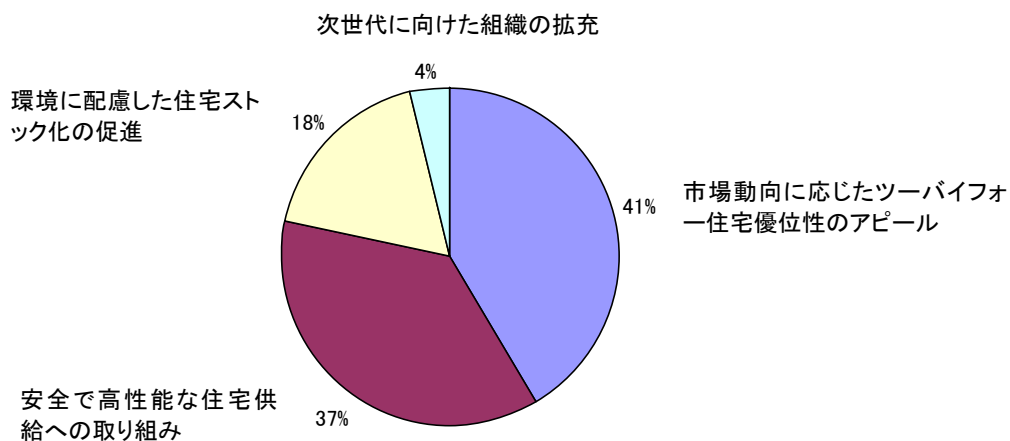


(2) 「環境問題に関する取り組み姿勢」の報告書やホームページ等での公表意向について



(3) 「ツーバイフォー中期行動計画」に対して、協会に期待する施策について

中期行動計画に期待する施策



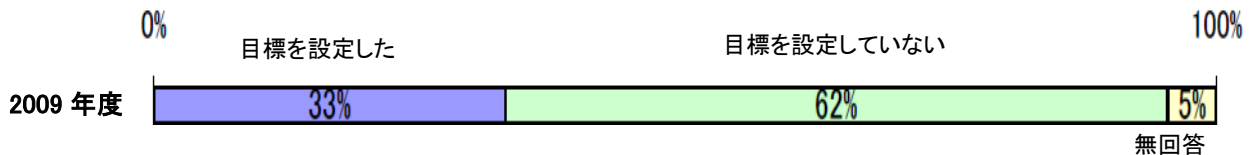
[3] 「環境行動計画」への取り組み状況

1. 温暖化対策の目標

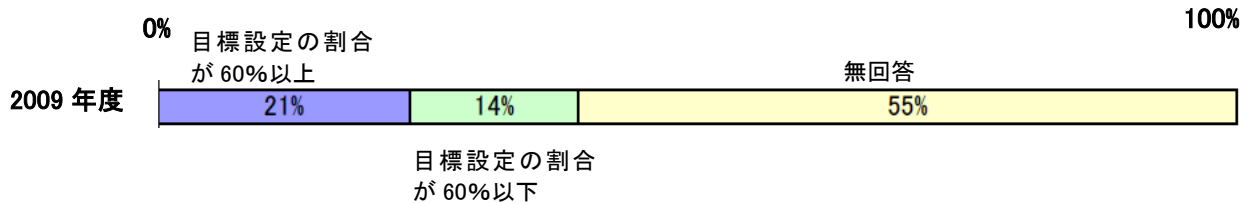
1) 省エネルギー化の推進

① 「次世代省エネルギー基準」をクリアした住宅の普及拡大

◆ 「次世代省エネ」住宅を供給する目標の設定をしましたか？

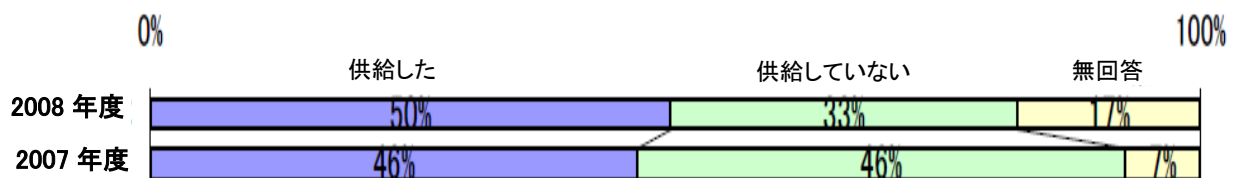


◆ 自社で供給する戸建て住宅のうち「次世代省エネ」住宅の割合を向上させる目標設定は何%でしたか？



【関連調査・2008年度の実績】

◆ 2008年度（2008年4月～2009年3月期）に「次世代省エネ基準（性能表示制度省エネルギー対策等級4相当）」をクリアした住宅の供給（着工ベース）をしましたか？



◆ 供給戸数に対する「次世代省エネ基準」住宅の割合

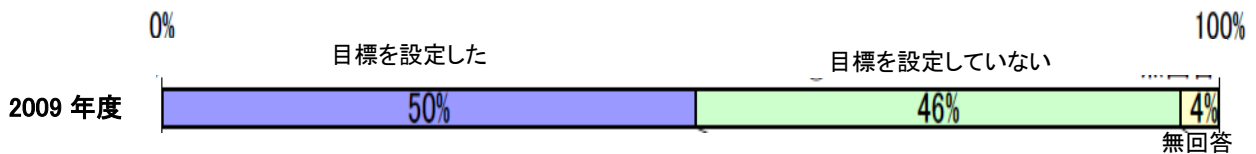
（本アンケートに回答した会員が供給した住宅の総戸数に対する「次世代省エネ基準」住宅の割合）

		供給総戸数(戸)	内、「次世代省エネ」住宅(戸)	割合(%)
2008年度	戸建住宅(注文・分譲)	14,240	6,599	46.3
	共同住宅	58,735	1,794	3.1
	計	72,975	8,393	11.5
2007年度	戸建住宅(注文・分譲)	12,573	6,609	52.6
	共同住宅	2,591	153	5.9
	計	15,164	6,762	44.6

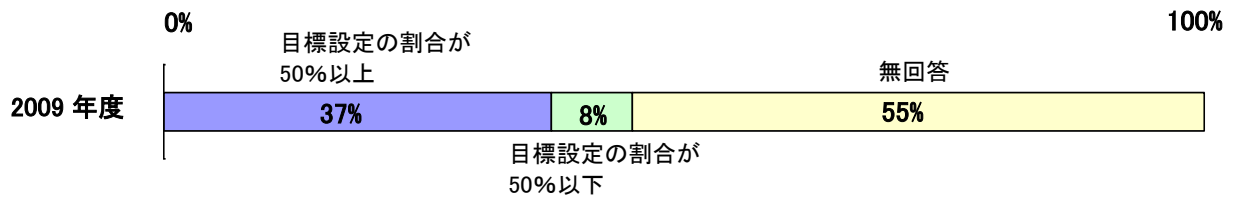
- アンケートに回答した会員の住宅供給総戸数に対する「次世代省エネ基準」住宅は、上表のとおりである。2008年度は戸建て住宅の供給戸数14,240戸に対して「次世代省エネ」住宅は6,599戸で、その割合は46.3%となっている。
- 共同住宅はそれぞれ58,735戸、1,794戸、3.1%。戸建て、共同の合計で72,975戸、8,393戸、11.5%であった。

②高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を導入した住宅の普及拡大

◆高効率給湯器を導入した住宅を供給する目標の設定をされましたか？

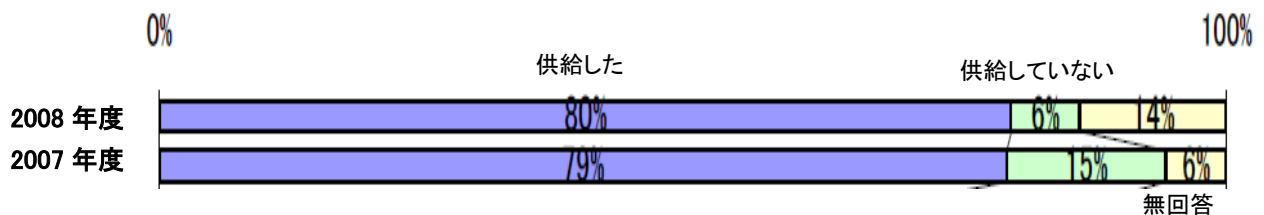


◆自社で供給する戸建て住宅のうち「高効率給湯器導入」住宅の割合を向上させる目標設定は何%でしたか？



【関連調査・2008年度の実績】

◆2008年度（2008年4月～2009年3月）高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を導入した住宅の供給（着工ベース）をされましたか？



◆供給戸数に対する「高効率給湯器」導入住宅の割合

(本アンケートに回答した会員が供給した住宅の総戸数に対する「高効率給湯器」導入住宅の割合)

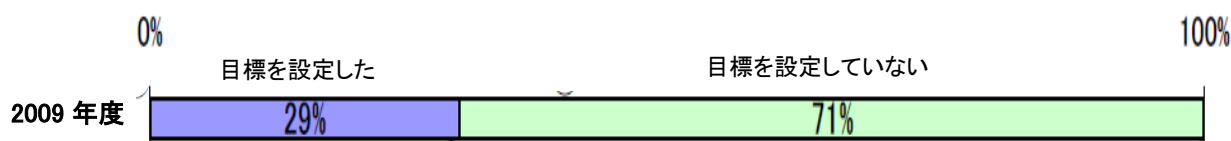
		供給総戸数(戸)	内、「高効率給湯器」導入住宅(戸)	割合(%)
2008年度	戸建住宅(注文・分譲)	14,747	7,582	51.4
	共同住宅	5,548	68	1.2
	計	20,295	7,650	37.7
2007年度	戸建住宅(注文・分譲)	12,462	5,325	42.7
	共同住宅	2,604	52	2.0
	計	15,066	5,377	35.7

- アンケートに回答した会員の住宅供給総戸数に対する「高効率給湯器」導入住宅は上表のとおりである。2008年度における戸建て住宅の供給総戸数 14,747 戸のうち「高効率給湯器」導入住宅は 7,582 戸で、その割合は 51.4%であった。
- 共同住宅はそれぞれ、5,548 戸、68 戸、1.2%。戸建て、共同の合計では 20,295 戸、7,650 戸、37.7%となっている。

2) 建設現場におけるCO2排出量の削減に向けた活動の推進

①現場におけるCO2排出量の削減に努める

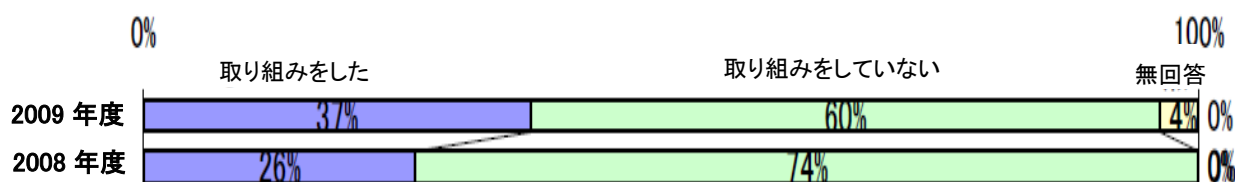
- ◆建設現場における資材搬入車両、職方移動車両の削減に取り組み、エコドライブ（アイドリングストップなど）を実践する目標の設定をしましたか？



【関連調査】

建築現場における段階で、CO2排出量削減に向けた取り組みをしていますか

- ◆現場施工時のCO2排出量削減の取り組みをしましたか？

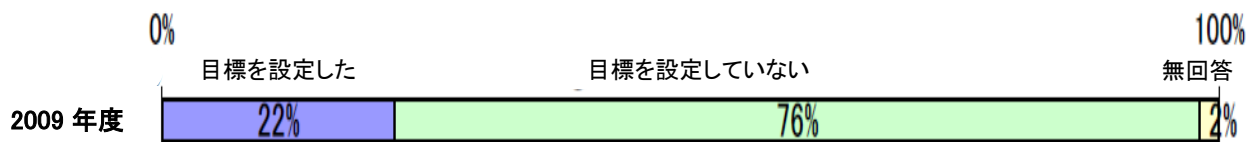


◆物流時のCO2排出量削減の取り組みをしましたか？



②住宅の長寿命化を積極的に促進する

◆性能表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級に相当する住宅を供給する目標の設定をしましたか？



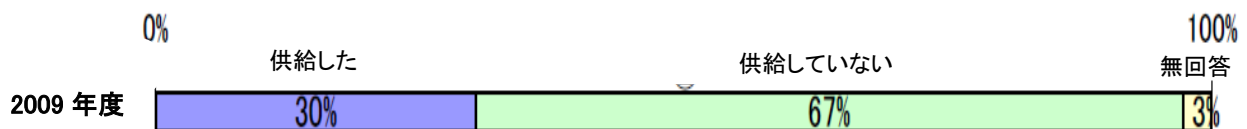
【関連調査】

ツーバイフォー住宅の基本性能については、長寿命化、耐久性の高いものを目指しましたか

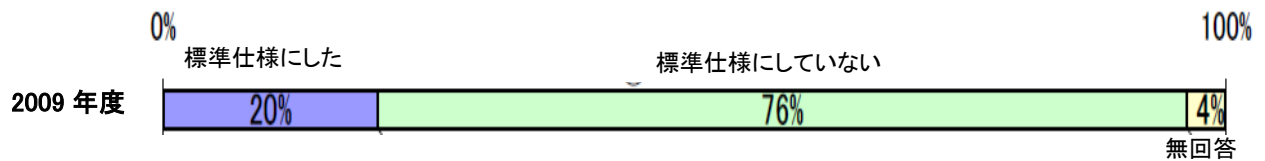
◆自社独自の仕様で耐久性の向上を図りましたか？



◆住宅表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級を選択したツーバイフォー住宅を供給しましたか？



◆住宅表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級を選択した住宅を自社商品の標準仕様にしましたか？



2. 廃棄物対策の目標

3R< リデュース（発生抑制・長寿命化）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化・再生利用）>の推進により廃棄物発生量を削減する

◆分別ルールを作成して積極的にリサイクル、リユースの促進に取り組む目標を設定しましたか？



◆リデュースを促進させるため部資材の簡易梱包、コンポーネント化、パネル化に積極的に取り組む目標を設定をしましたか？



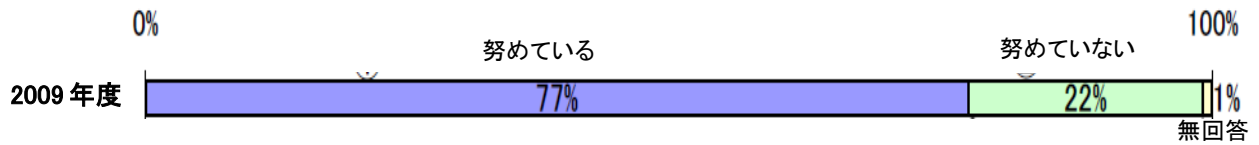
【関連調査】

産業廃棄物のリサイクルに努めていますか

◆自社の建物仕様に対応した分別排出ルールを作成していますか？



◆資材の有効利用に努めていますか？

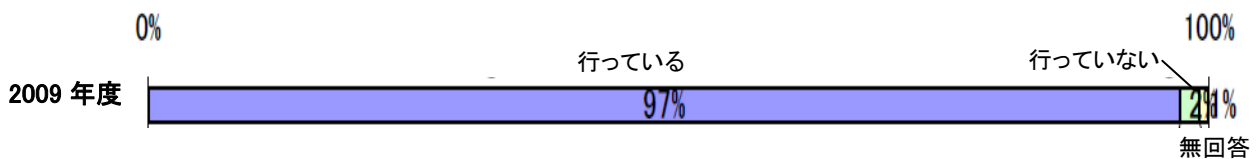


◆リサイクル状況を把握していますか？

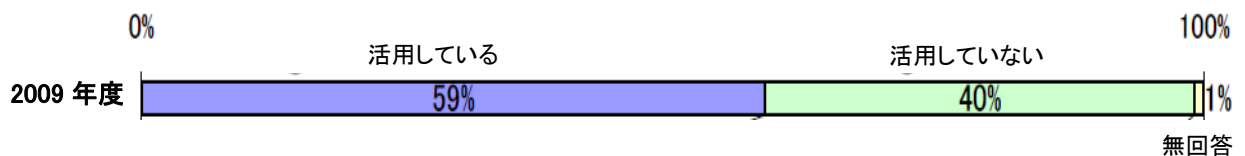


現場に極力、産業廃棄物となる可能性のあるものを持ち込まないように努めていますか

◆資材の発注にあたり適正な数量拾いを行っていますか？



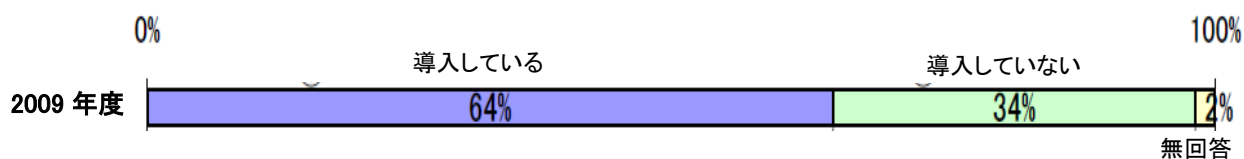
◆産業廃棄物の発生状況を確認し、資材発注段階での情報として活用していますか？



◆資材の簡易梱包を推進していますか？



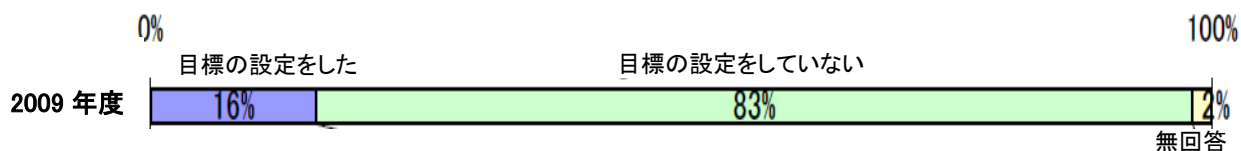
◆部資材のコンポーネント化やパネル化を積極的に導入していますか？



3. 環境配慮の目標

環境に配慮した経営方針を導入し実践していく

◆環境行動計画として環境マネジメントの仕組みを導入して取り組む目標を設定しましたか？



【関連調査】

木材購入に際してトレーサビリティ（履歴がたどれる木材）について、どう考えていますか？

